

金城学院大学 文学部 英語英米文化学科

水野 真木子 教授

幼い頃から英語に親しみ、通訳ガイドや法廷通訳などを経て
教員になられた水野先生。

「英語スペシャリスト養成プログラム」では英語通訳を軸に国際問題や政治、
経済についてなど幅広い講義を行っていらっしゃいます。

また「外国語を学ぶことは他国や日本の文化をより深く知ること」と話し、
学生たちには「学ぶことで自信を持ち、グローバルに活躍できる人になってほしい」
と願っていらっしゃいます。



外国語を学ぶことで文化を深く知り
幅広く物事を見ることができ
る人になってほしい

水野真木子教授／京都府立大学文学部卒、立命館大学大学院国際関係研究科修士課程修了。日本英語医療通訳協会会長、日本法と言語学会副会長ほか務める。「コミュニティー通訳入門」「司法通訳」ほか著書も多数。

ガイドや法廷通訳を経て 教える楽しさを知り教員へ

とにかく小さい時から英語に関心がありました。よく両親に「これは英語で何というの?」と聞いて単語を教えてもらったり、外国の本をたくさん読んだりもしました。英語はほぼ高校まででマスターできたので、大学はドイツ語を専攻。卒業してからは通訳ガイドの資格を取って外国人旅行客の観光ガイドを行い、その後会議通訳をめざして再び学校へ通いました。会議通訳は毎回テーマが違うので、会議の前に膨大な資料を読んで内容を把握します。いずれも専門的で大変難しかったのですが、その分とても勉強になったと思います。

こうした会議通訳の仕事をするうちに法廷通訳にも関心を持ち、その仕事もするようになりました。いくつかの裁判の通訳を行ったのですが、中でも印象的だったのは、拳銃密造事件に関わる裁判です。正確に通訳するためには拳銃の構造についても知らなくてはならないということで、検察官に同行して勾置所を訪問し、勾留者の方から拳銃についてレクチャーを受けたのです。こんな経験も、この仕事でなければできないかなと思います。

またその頃通訳コースを設ける大学が増え始めたので、非常勤講師も務めるようになりました。そこで教える楽しさを知り、やがて専任教員に、そして縁あって金城学院大学の教員をさせていただくこととなったのです。

さまざまな教材を使い 知識アップのきっかけに

現在は英語英米文化学科で「英語スペシャリスト養成プログラム」の科目を担当しています。このプログラムは実用的な通訳や翻訳の演習を行い、将来英語を使ってさまざまな分野で活躍できる女性を育成する内容。そのため授業ではCNNニュースなど、さまざまな素材を使って教えています。英語を話せるようになるにはまず自分自身がきちんとした日本語を使える

ことが大切だと思います。正しい日本語が使えないと英訳も直訳的になり、適切で自然な日本語に訳せないからです。例えば法廷通訳では「殺人」という単語ひとつを例に取っても、訳し方で意味が全く変わります。計画的なら「murder」となりますが、計画性がなかったのなら別の単語になるのです。言葉の意味をしっかりと理解し、正しく訳す。それにはやはり日本語についても高い能力が必要だと思います。

また司法問題や社会、経済問題を教材に取り上げることでさまざまな知識を身につけてもらいたいとも思っています。先日は震災関連についても授業を行い、原発の問題を学生みんなで考えたり、課題図書を出して感想をまとめてもらったりもしました。このプログラムを受ける学生はTOEICの点数も高く、目的意識も持った大変素晴らしい学生ばかりです。授業ひとつひとつが学生たちのさらなる知識アップのきっかけになれば、と日々考えながら教えています。

外国語を通して文化を知り 多方面で活躍できる人に

私は今、裁判員裁判制度導入を機に「裁判通訳言語の分析」をテーマに研究を進めています。例えば模擬法廷を行い、外国語の証言を題材に、それを丁寧語で訳す、乱暴に訳すなどいくつ

かのパターンで訳して模擬裁判員に証言内容を評価させます。これによって通訳がいかに裁判員に影響を与えているかを研究するのです。そこには言葉の違いだけでなく、文化の違いの問題もあります。世の中にはさまざまな言語があり、同じようにさまざまな文化や風習があります。こうした自身の研究を通して、学生たちにも日本と他国との文化の違いを理解し幅広い視野で物事を見ることができるようになってもらえるよう、指導していけたらと思っています。

また私のゼミではゼミ論文がないかわりに学習成果発表会を行います。昨年は要通訳事件の模擬裁判を行い、参加された皆さんからも高い評価をいただきました。また昨年開催されたCOP10では学生が東山動植物園のガイド本を翻訳し、実際に現地で通訳ガイドも行っています。こうした経験のひとつひとつが学生たちの自信につながると思っています。外国語を勉強し、使いこなせるようになることで自分に自信を持ち、広い視野を持って働ける人になってもらいたいと願っています。



ゲストに配るガイドブックを学生20名が翻訳



水野先生はどんな人!?

通訳演習Bを履修する皆さんに、水野先生について伺ったところ「とにかく知識が幅広くてプロフェッショナル」「経験していることがすごい」と先生の経歴について感嘆する声。また「働く女性のお手本」「優しくてかっこよく、英語だけではなく人として必要なこともいろいろと教えてくれる」など、女性としても憧れの対象であることが伺えました。